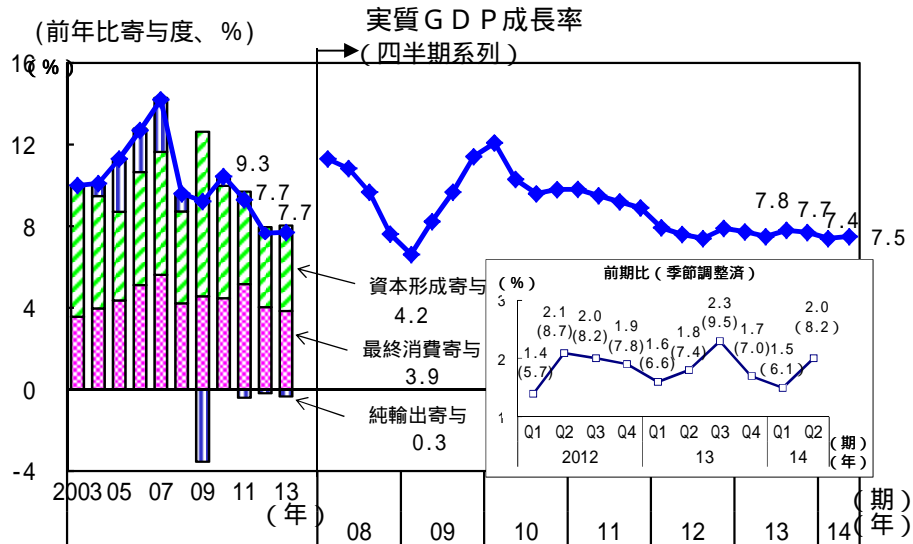


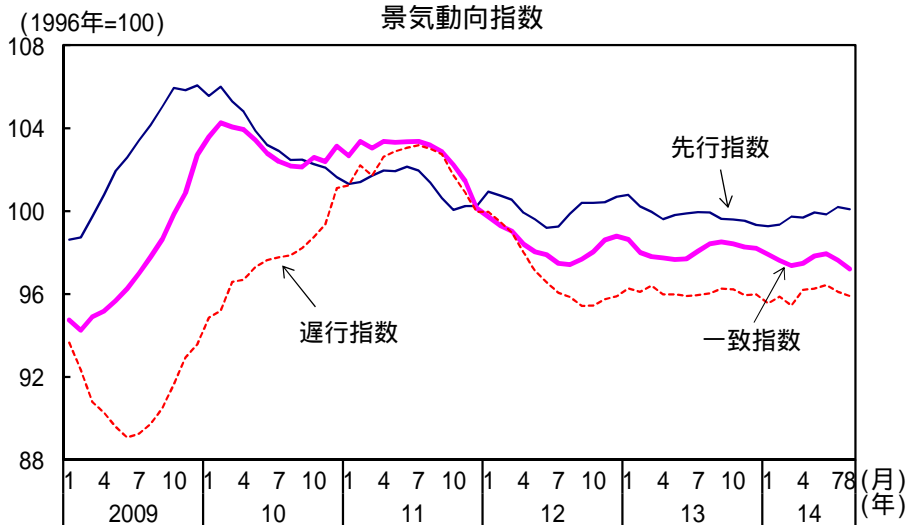
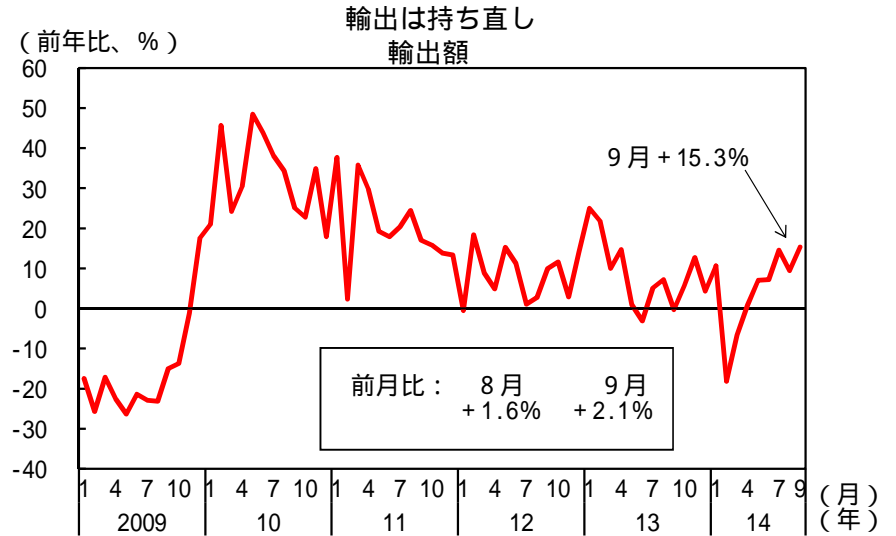
2. アジア地域

中国：

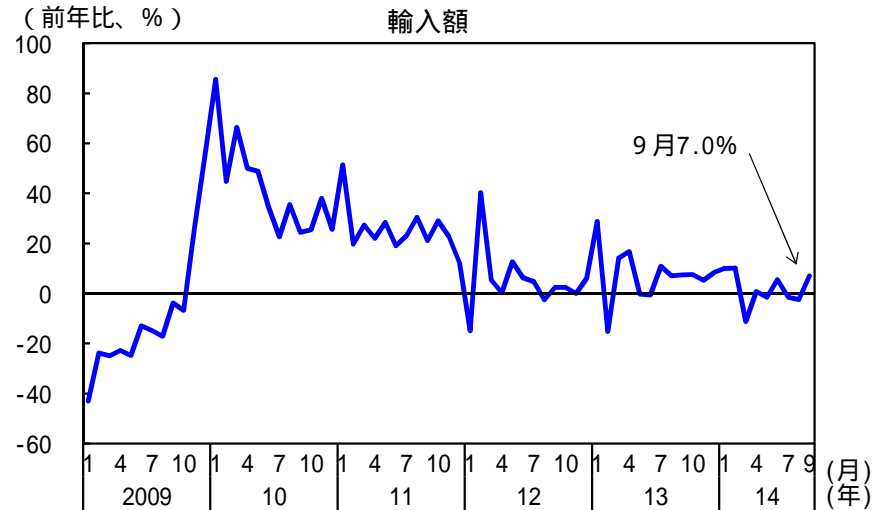
中国では、景気の拡大テンポは緩やかになっている。



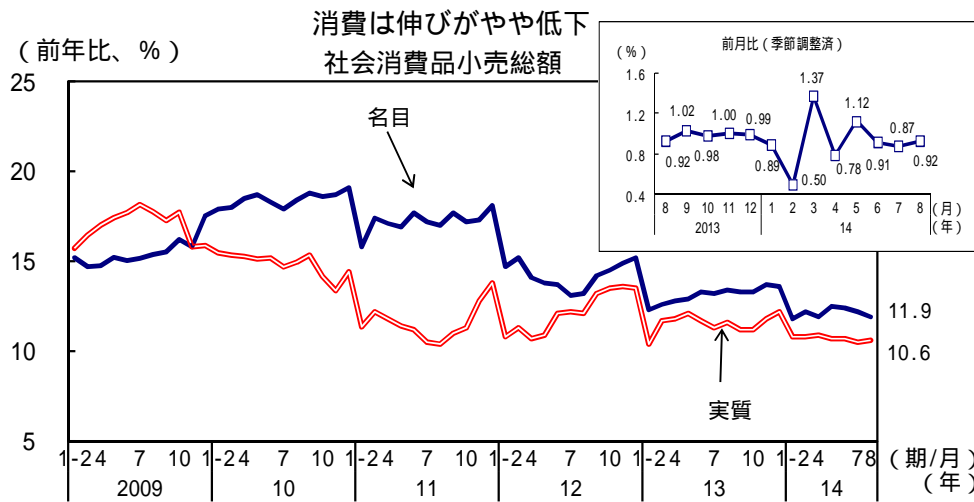
(備考) 前期比のグラフの()内の数値は内閣府試算による前期比年率。



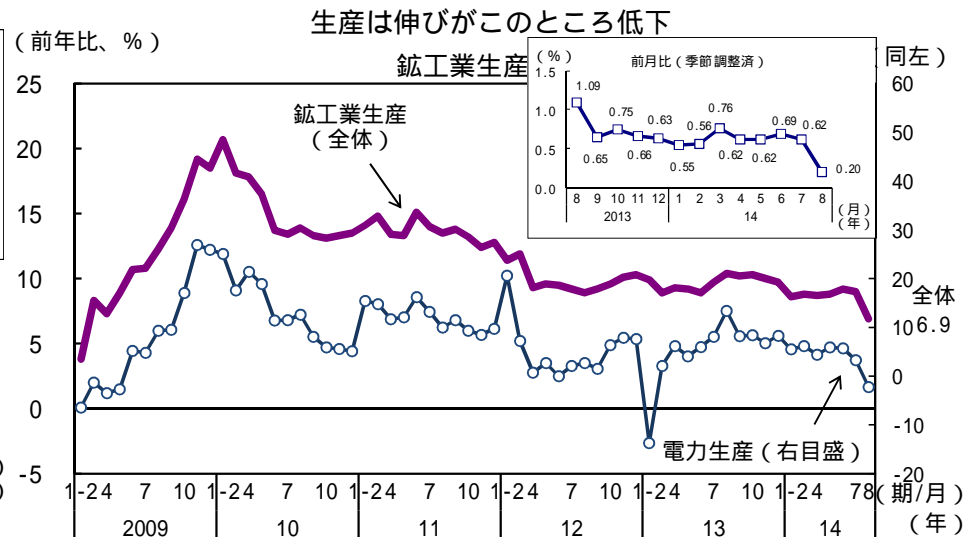
(備考) 一致指数は鉱工業生産等の8指標、先行指数は消費者期待指数等の8指標、遅行指数は個人預金残高等の5指標から構成されている。



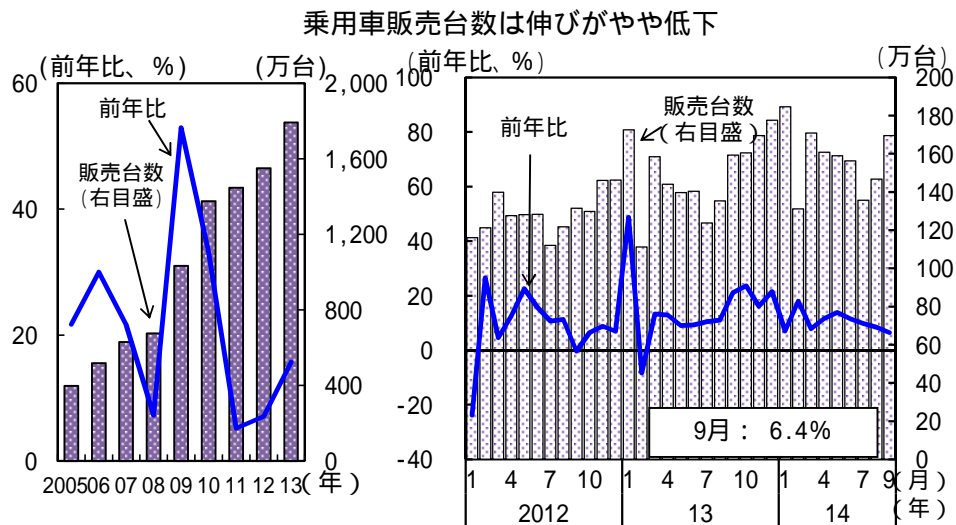
(備考) 春節(旧正月)休暇は、12年1月22~28日、13年2月9~15日、14年1月31日~2月6日。



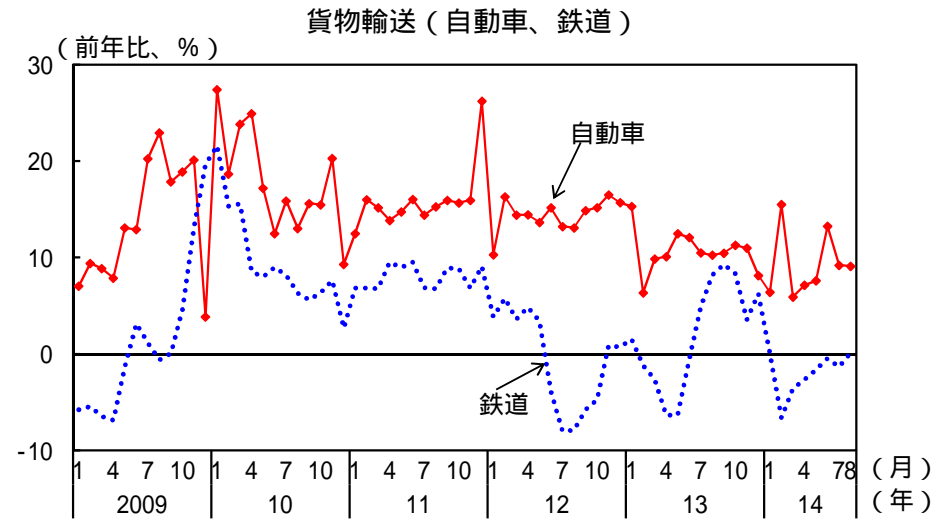
(備考) 1. 実質伸び率は、11年8月までは小売物価指数を用いて試算。9月以降は国家统计局公表値。
2. 中国では、消費刺激策として農村における家電の普及政策(「家電下乡」)の全国展開(09年2月~13年1月)、省エネ家電購入に対する補助金支給(12年6月~13年5月)小型の低燃費車購入に対する補助金支給(10年6月~13年9月、11年10月より一部基準を厳格化)が実施されていた。



(備考) 11年1-2月期より、統計対象範囲に変更があったため、厳密には11年1-2月前後では接続しない。

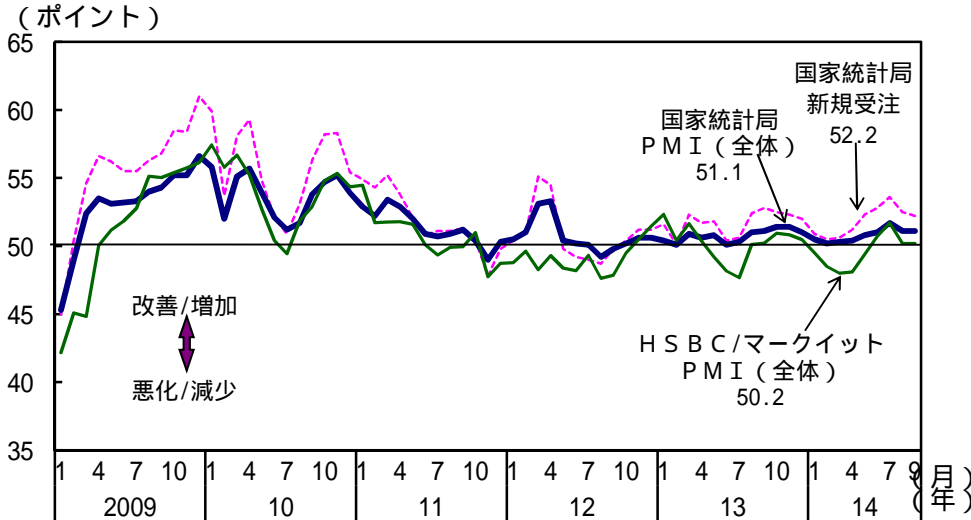


(備考) 春節(旧正月)休暇は、08年2月6~12日、09年1月25~31日、10年2月13~19日、11年2月2~8日、12年1月22~28日、13年2月9~15日、14年1月31日~2月6日。



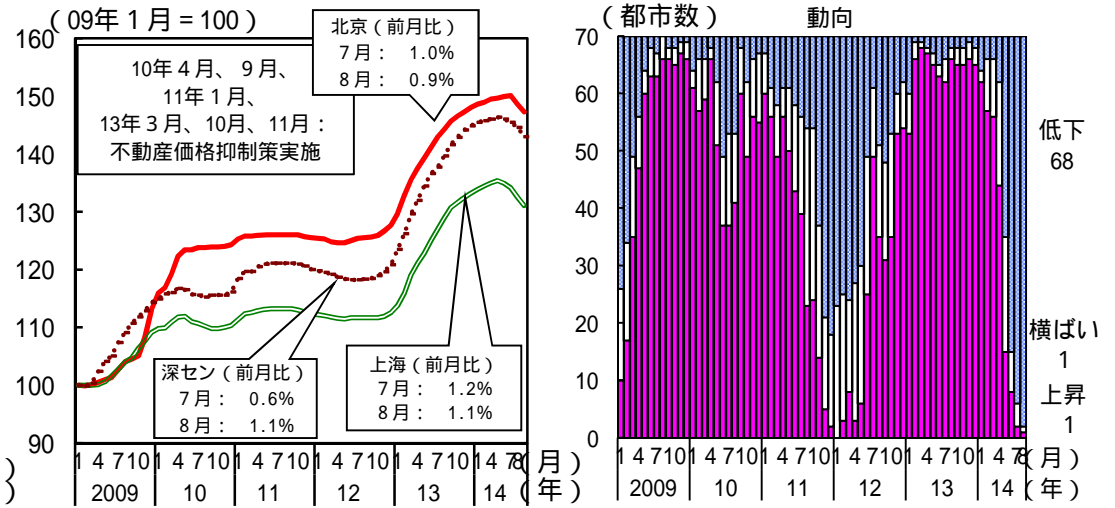
(備考) 1. 輸送量ベースの前年比。
2. 14年以降の自動車輸送量の伸びについては、当局発表の累計の伸びを元に当室試算。

製造業購買担当者指数 (PMI) はおおむね横ばい



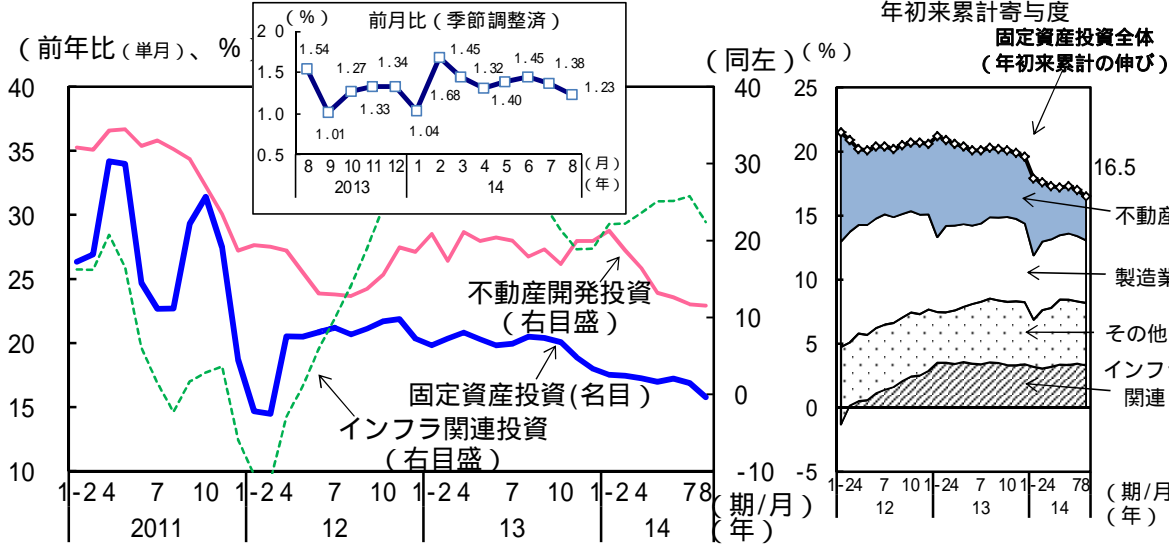
(備考) 国家統計局では、製造業の業況に関わる11の項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう変わったのかを集計。全体は、生産高、新規受注、原材料在庫、雇用、サプライヤー納期の5つの指標から合成される。50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。13年1月より、統計対象社数に変更があったため、厳密には13年1月前後では接続しない。

新築住宅販売価格：主要都市でやや低下



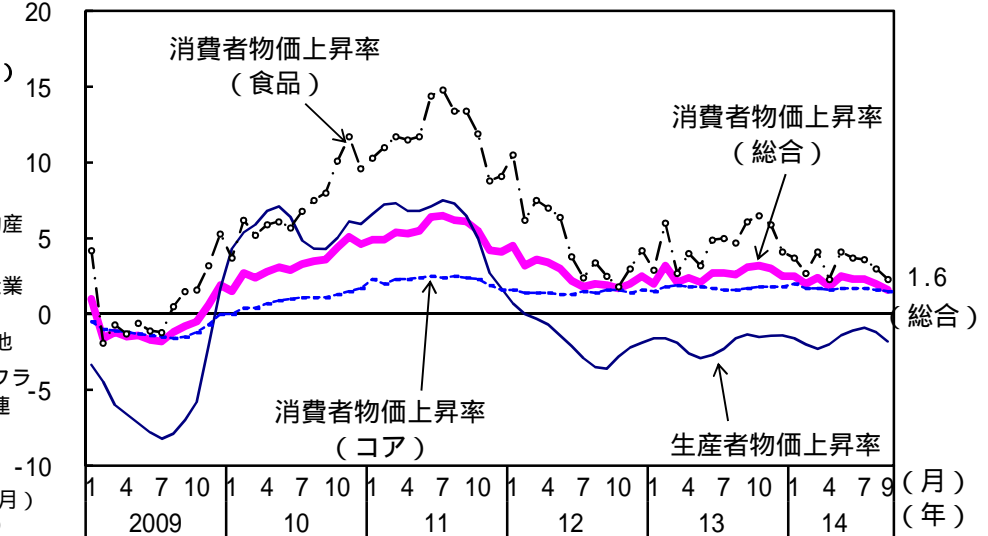
(備考) 1. 価格水準は、09年1月の1㎡当たりの価格を100として指数化。動向は、前月比でプラスの都市を「上昇」、±0.0%の都市を「横ばい」、マイナスの都市を「低下」とした。
2. 11年1月に基準改定があったため、厳密には11年1月前後で接続しない。
なお、全国70都市の平均価格は、11年1月から公表されていない。

固定資産投資は伸びが鈍化



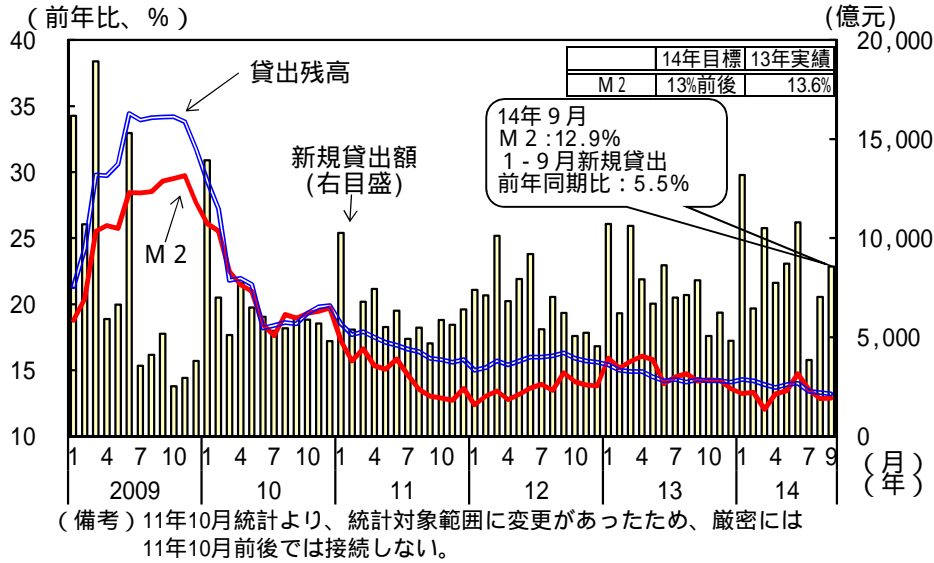
(備考) インフラ関連投資は、道路、ダム、鉄道等の投資額を合算したもの。また、いずれも単月試算値の3か月移動平均の前年比。11年1-2月より統計対象範囲に変更があったため、厳密には11年1-2月前後では接続しない。

消費者物価上昇率はこのところやや低下

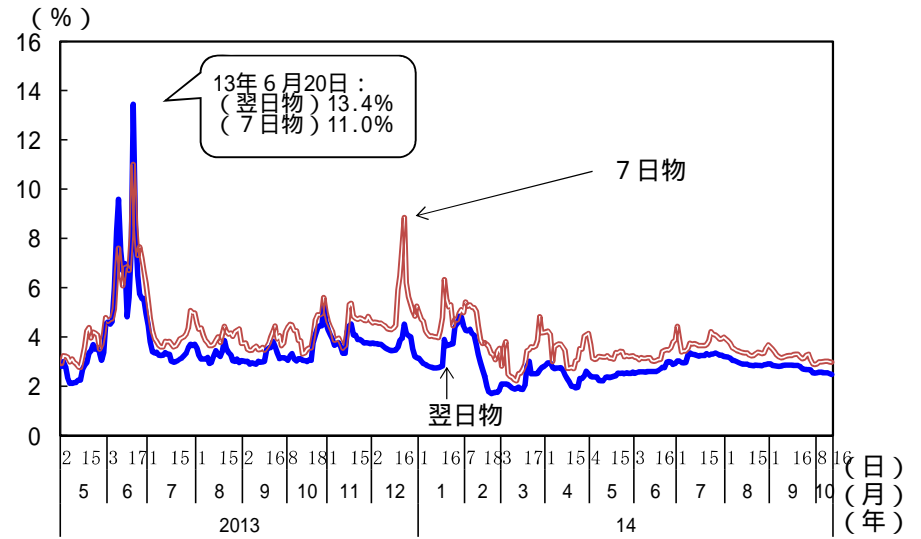


(備考) コア消費者物価は、総合から食品とエネルギーを除いたもの。

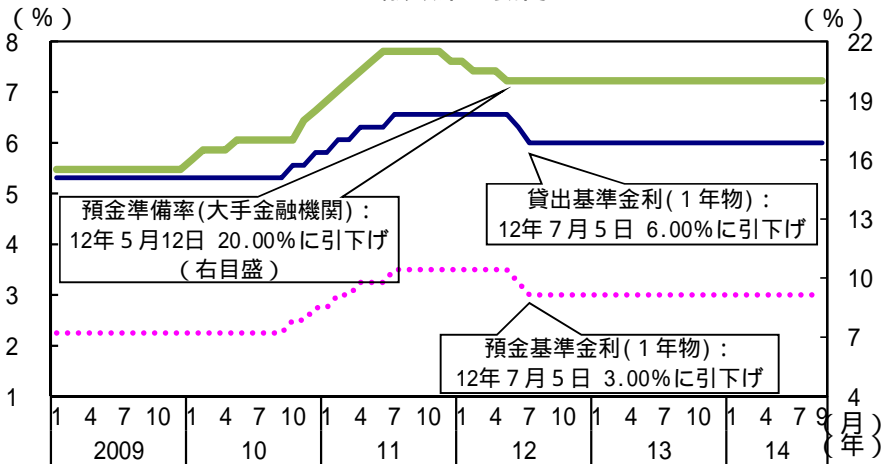
マネーサプライの伸びはおおむね横ばい



上海銀行間取引金利 (SHIBOR) : おおむね横ばい

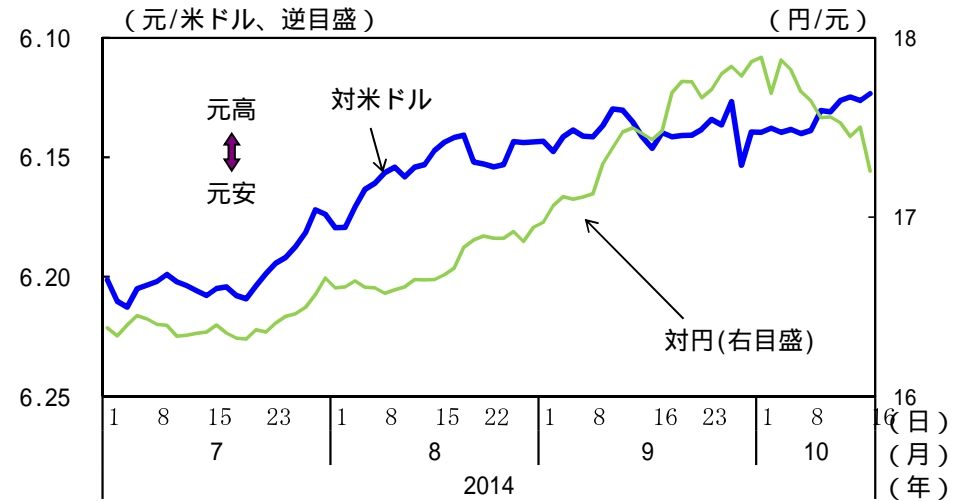


金融政策の動向



- (備考) 1. 日付は政策金利及び預金準備率の引上げ/引下げ発表日。
 2. 08年7月以前は、大手金融機関の預金準備率が公表されていないため、全体の預金準備率としている。
 3. 13年7月20日から貸出基準金利の下限を撤廃。

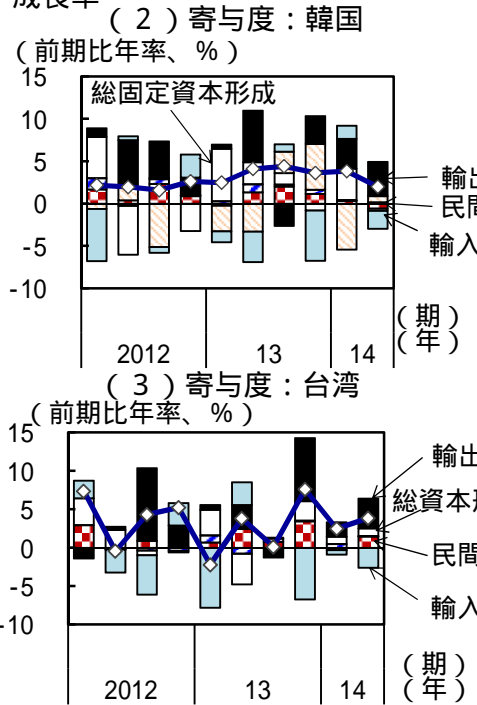
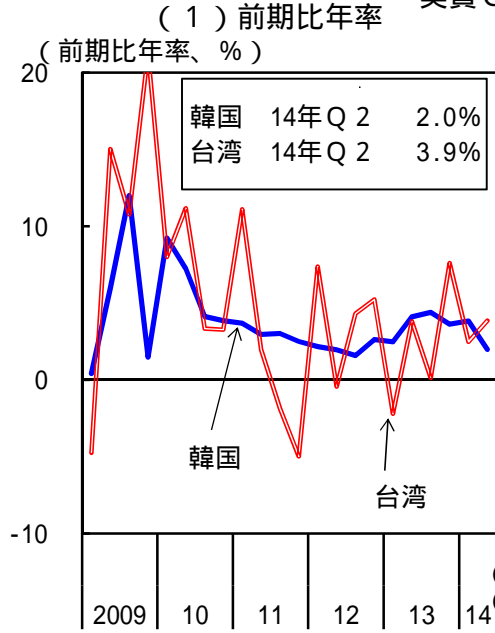
人民元名目為替レート : おおむね横ばい



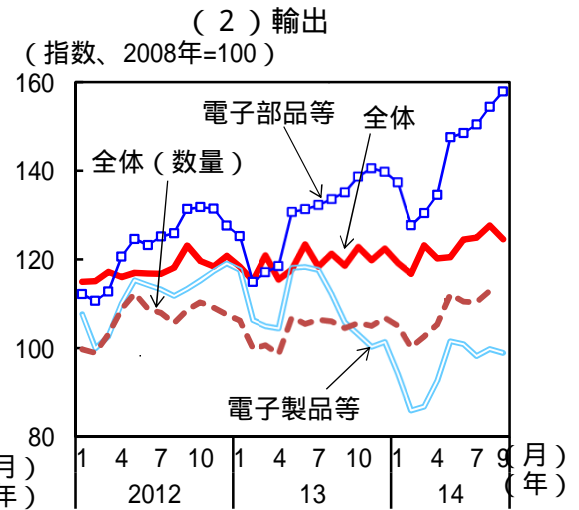
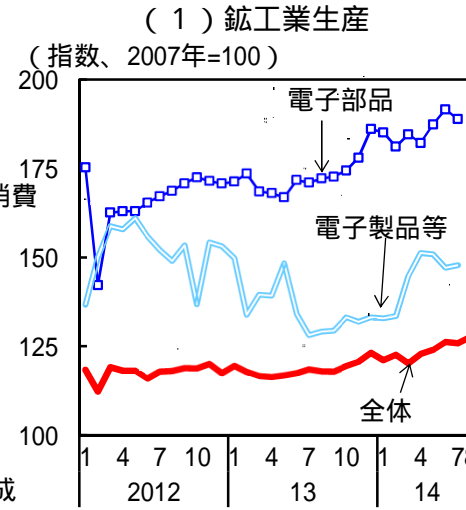
韓国、台湾：

韓国では、景気は内需を中心に持ち直しの動きが緩やかになっている。
台湾では、景気は緩やかに回復している。

実質GDP成長率

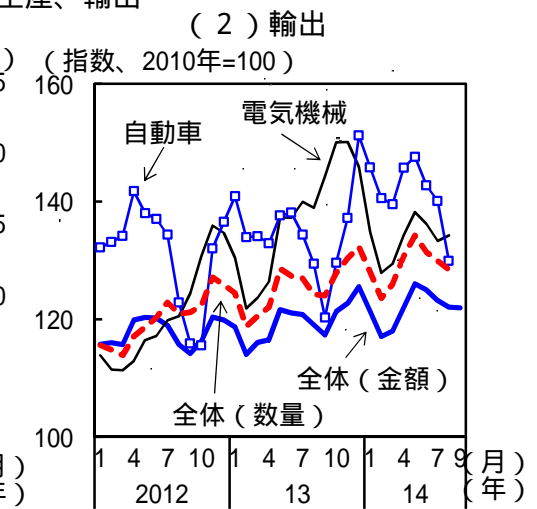
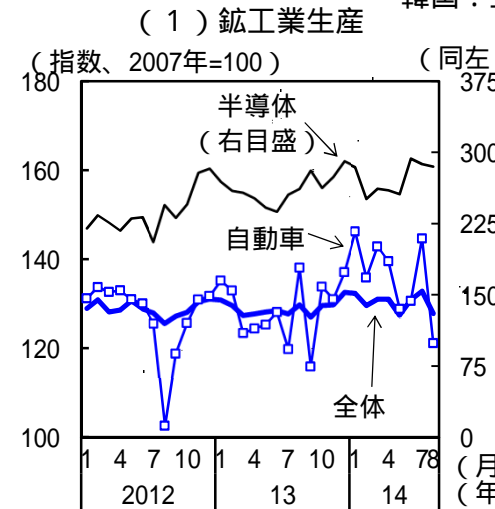


台湾：生産、輸出



輸出総額は季節調整値。輸出の全体(数量)、電子部品等、電子製品等(情報通信関連財及び光学用機器類の合計)は原数値の3か月移動平均値。数量以外は米ドルベース。

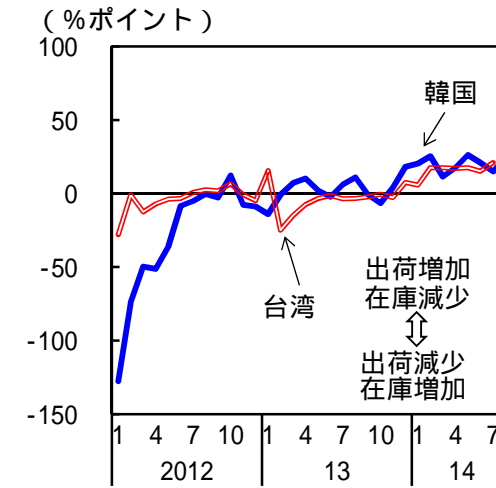
韓国：生産、輸出



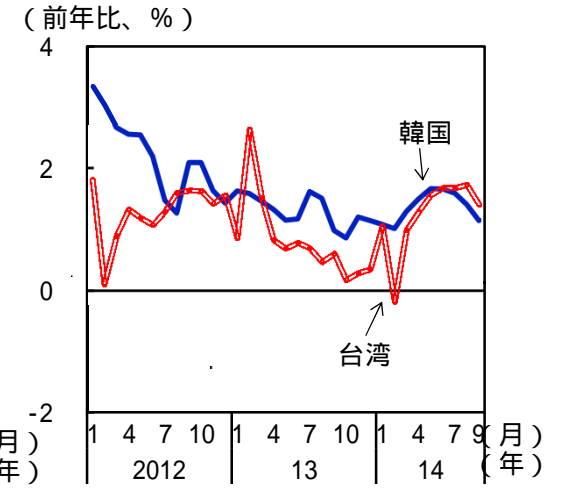
(備考) 輸出の指数は、原数値の3か月移動平均値。数量以外は米ドルベース。

出荷在庫ギャップ

(韓国：半導体、台湾：電子部品)



消費者物価上昇率



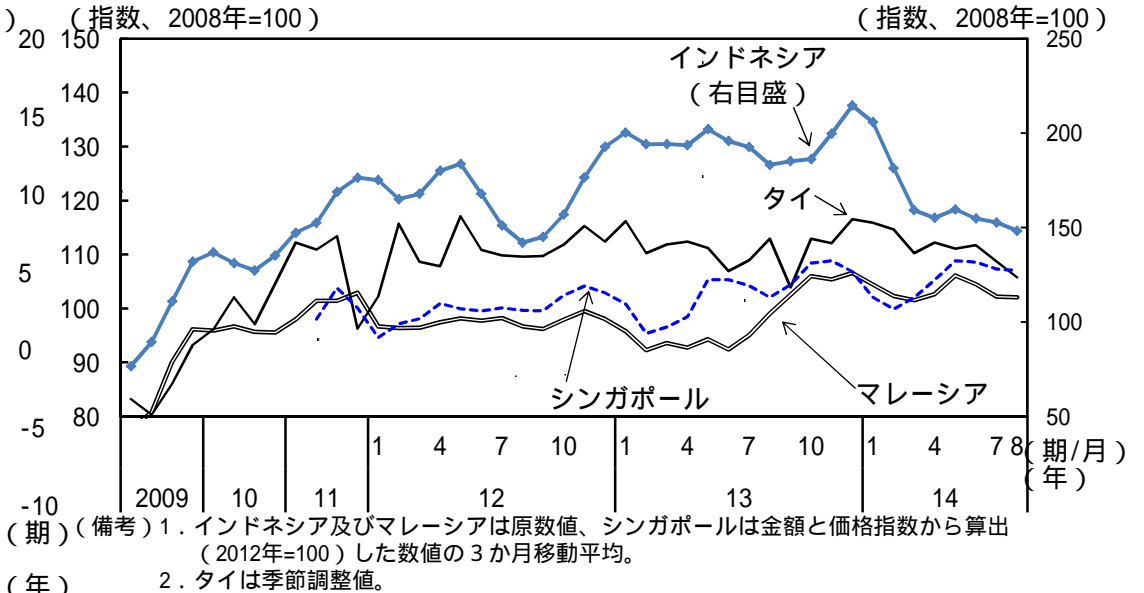
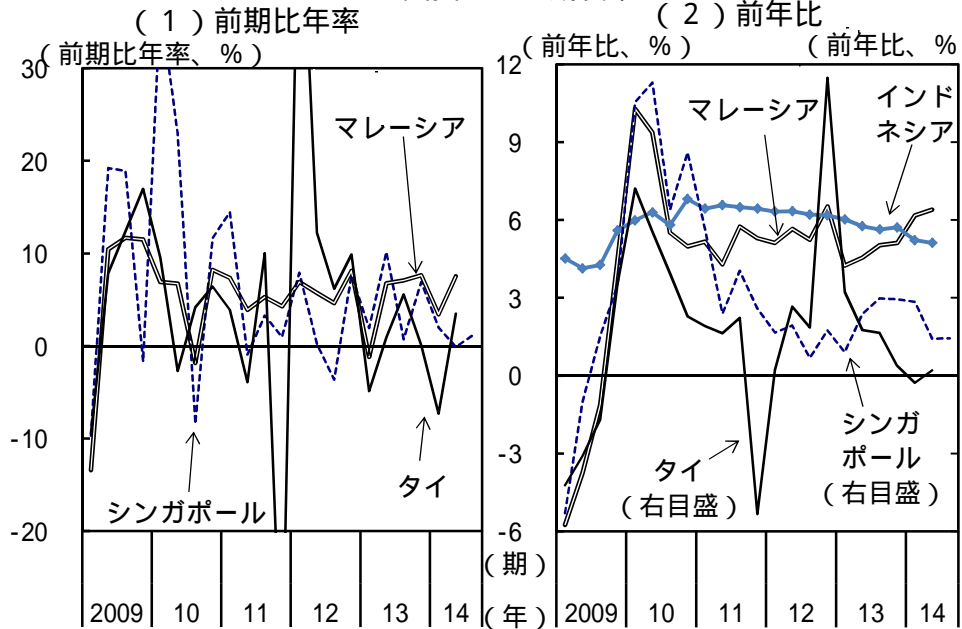
(備考) 出荷在庫ギャップ = 出荷前年比 - 在庫前年比。(備考) 台湾は生鮮食品を除いたもの。

ASEAN地域：

ASEAN地域（インドネシア、タイ、マレーシア及びシンガポール）では、景気は総じて足踏み状態となっている。

実質GDP成長率

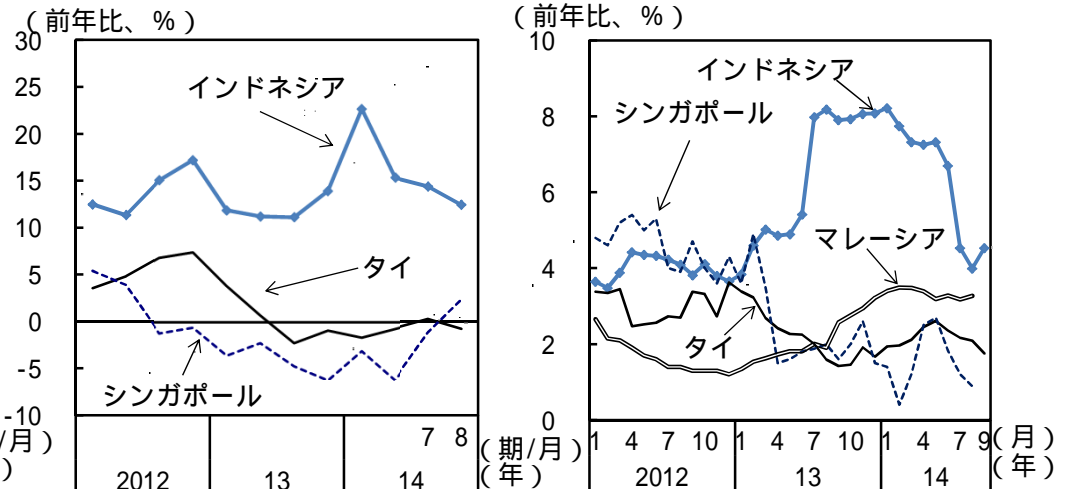
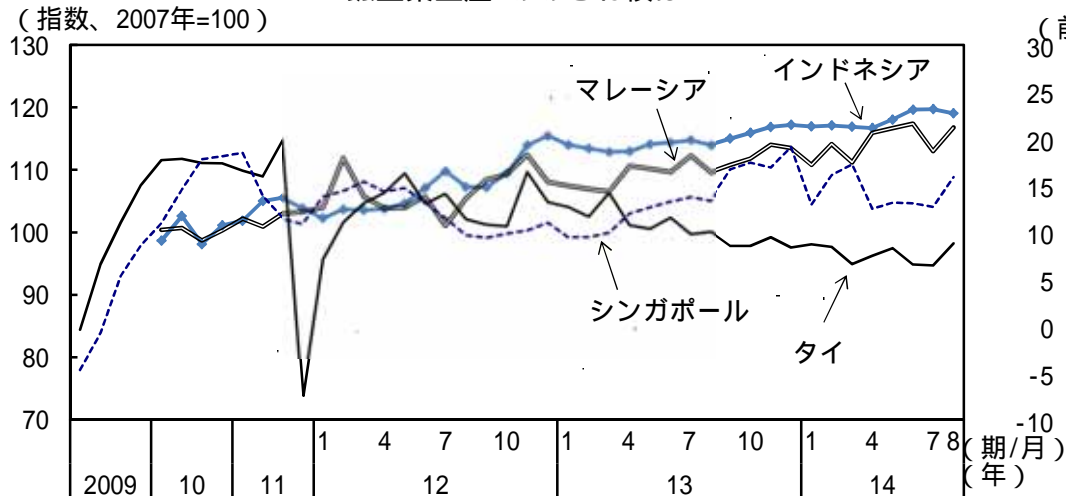
輸出（数量）：弱い動き



鉱工業生産：おおむね横ばい

実質小売上：インドネシアでは高伸

消費者物価上昇率：低下する国も



(備考) 1. インドネシア、タイ及びシンガポールは製造業の数値。ただし、シンガポールは振れが大きいバイオ・メディカルを除いたもの。
2. インドネシアは原数値の3か月移動平均値 (10年基準、10年以降のみ公表)。インドネシアを除く各国の数値は、季節調整値 (マレーシアは10年基準、10年以降のみ公表)。

(備考) 1. インドネシア及びシンガポールは原系列 (3か月移動平均) の前年比。
2. タイは民間消費 (季節調整値) の前年比 (タイ中銀の手法に準ずる)。

インド:

インドでは、景気は持ち直しの動きがみられる。

